

令和5年度 地理歴史科「歴史総合」シラバス

令和4年度		学校名		豊見城高等学校		科・コース名		普通科		クラス		1～8組		単位		2		学年		1	
年間指導計画				教科名		地理歴史科		科目名		歴史総合		教科書名（会社名）		現代の歴史総合（山川出版社）							
科目目標 （資質・能力）	柱書		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
	知識及び技能		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。																		
	思考力、判断力、表現力等		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。																		
	学びに向かう力、人間性等		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。																		
観点別評価の表記について				評定に用いる（記録に残す）評価＝○、そのうちペーパーテストで見取る評価＝◎として記載する。																	
学期	月	大項目	大項目の問い	中項目 （教科書にある単元名でも可）	F Q （中項目/単元を貫く問い）	小単元名と考查の位置づけ		MQ（本時の問い）		評価の観点			時数								
1学期	4	第Ⅰ部 近代化と私たち	なぜ歴史を学ぶのか	(1)歴史と私たち[A(1)]		オリエンテーション （自習等の課題として取り組ませる）															
														(2)歴史の特質と資料[A(2)]							
				近代化への問い [B(1)]		①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加、国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民	近代にはどのような特徴があるか														
												第1章 結びつく世界と日本の開国 [B(2)]	日本が一番影響を受けたのはどの国か	1. 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2. 貿易が結んだ世界と日本 3. 産業革命 4. 中国の開港と日本の開国	18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか 18世紀の世界と日本は、どのように結びついていたのだろうか 18世紀から始まる技術革新の波は世界をどのように変えたのだろうか 清の開港と日本の開港によって、東アジアはどのように変わったのだろうか	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	1 1 2 1		
				第2章 国民国家と明治維新 [B(3)]	各国の近代化は、現代の諸課題の形成にどのような影響を与えているか	1. 市民革命 2. 国民国家とナショナリズム 3. 明治維新 4. 日本の産業革命 5. 帝国主義	市民革命は社会をどのように変えたのか 国民国家とは何か 日本がどのようにして、国民が政治に参加する国になったのか 日本の産業革命が、イギリスの産業革命よりも短期間で達成できたのはなぜか 帝国主義は世界をどのように変えたか	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	2 2 2 1 1 1 1										
												近代化と現代的な諸課題 [B(4)]		①開発・保全 ②対立・協調 ③自由・制限	近代化とは何か		○ ○	○ ○	2		

令和5年度 地理歴史科「地理総合」シラバス

令和5年度				学校名	豊見城高等学校	科・コース名	普通科	クラス	2 年全クラス		単位	2	学年	2
年間指導計画				教科名	地理歴史科	科目名	地理総合	教科書名（会社名）	新地理総合（帝国書院）					
科目 目標 （資質・能力）	柱書			社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。										
	知識及び技能			地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。										
	思考力，判断力，表現力等			地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地位などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。										
	学びに向かう力，人間性等			地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、正解の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。										
観点別評価の表記について				学習改善(指導)に生かす評価（●）は毎時間行うものである。評定に用いる(記録に残す)評価＝○、そのうち、ペーパーテストで見取る評価＝◎として記載する。（WS＝ワークシート）										
学期	月	大項目 編	中項目 章	単元名 節	F Q（単元を貫く問い）	小単元名と考查の位置づけ		MQ（本時の問い）	評価の観点 知 思 態			時数		
1 学 期	4	第1部	第1章	1 節 地球上の位置と時差	地球上の位置の違いは私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	1 地球上の位置と私たちの生活		緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
						2 時差と私たちの生活		時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
						1 地球儀と地図		なぜ地図にはさまざまな図法があるのだろうか。	◎			1		
						2 身の回りの地図		主題図と一般図には、それぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。	◎			1		
				2 節 地図の役割と種類	国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。	3 統計地図の種類と利用		統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているのだろうか。	◎			1		
						4 地理情報システム（GIS)の活用		地理情報システム(GIS)は、どのように活用されているのだろうか。	○			2		
			2	1 節 結び好きを深める現代世界		1 現代世界の国家		国家の領域や国境にはどのような決まりがあるのだろうか。	◎			1		
						2 日本の位置や領域		日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるのだろうか。	◎					
	5			2 節 グローバル化する世界	貿易や交通、通信、観光など、世界の国々を結び付ける要素によってどのように結び付いているのだろうか。	1 国家間の結び付き		世界の国々の結び付きは、時代とともにどのように変化してきたのだろうか。	◎		○	1		
						2 貿易によって結び付く世界		世界の国々で行われている貿易には、どのような特徴や課題があるのだろうか。	◎					
						3 ささまざまな交通網の発達		私たちの生活を支える交通網は、どのように発達してきたのだろうか。	◎					
						4 世界を結ぶ通信網の発達		通信網の発達により、私たちの生活はどのように変化しているのだろうか。	◎					
						5 観光のグローバル化	グローバル化によって、観光はどのように変化したのだろうか。		◎	○		1		
		2		1	生活文化の多様性と国際理解	世界各地の多様な生活文化を考察するには、どのような方法があるのだろうか。	1 生活文化を考察する方法		世界各地の多様な生活文化を考察するには、どのような方法があるのだろうか。				夏 休 み の 課 題	
					1 節 世界の地形と人々の生活		1 大地形と人々の生活		大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。					
							2 変動帯と人々の生活		変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。					
							3 安定地域と人々の生活		安定地域の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。					
							4 河川がつくる地形と人々の生活		河川がつくる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。					
						5 海岸の地形と人々の生活		海岸がつくる地形には、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。						
	6					6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活		氷河・乾燥・カルスト地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。						
					2 節 世界の気候と人々の生活	人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。	1 気温・降水と人々の生活		気温や降水は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1	
							2 大気大循環と人々の生活		風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1	
							3 世界の植生と気候区分		世界の植生は、気候とどのように関わり合っているのだろうか。	◎			1	
							4 熱帯の生活		熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	◎			1	
							5 乾燥帯の生活		乾燥帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	◎				
							6 温帯の生活		温帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	◎			1	
							7 亜寒帯・寒帯の生活		亜寒帯・寒帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	◎				
					モンスーンの影響を受ける地域での生活	言語や宗教は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活		季節風(モンスーン)は東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1	
							2 気候を生かした農業と人々の生活		東南アジアでは気候を生かしてどのような農業が発達してきたのだろうか。	◎	○	○	1	
	7				3 節 世界の言語・宗教と人々び生活	言語や宗教は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	1 世界の言語と人々の生活文化		言語は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1	
					2 世界の宗教と人々の生活文化		宗教は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎	○	○	1			
					イスラームの人々の生活の関わり		1 イスラームを中心とした生活文化		イスラームは人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1	
							2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化		乾燥地域で暮らすムスリムはどのような生活文化を育んできたのだろうか。	◎			1	
						3 変化するムスリムの生活		国の経済が発展するなかで、ムスリムの生活はどのように変化しているのだろうか。	◎	○	○	1		
2 学 期	9			4 節 歴史的背景と人々の生活	歴史的な背景は人々の生活文化にどのような影響を与えてきたか。	1 歴史的背景が人々の生活に与える影響		さまざまな歴史背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	◎			1		
				移民の歴史と人々の生活の関わり		1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化		さまざまな民族の流入は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
						2 大土地所有制が生み出した社会構造		ヨーロッパから持ち込まれた大土地所有制によって、どのような社会が生まれたのだろうか。	◎					
						3 外国資本による工業化と生活変化		外国資本による工業化は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1		
				植民地支配の歴史と人々の生活の関わり	植民地支配の歴史は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	1 生活文化に残る旧宗主国の影響		植民地支配の歴史は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
						2 植民地支配の影響が残るアフリカ産業		植民地支配の歴史は、現在のアフリカの産業にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
						3 人々の生活の変化と経済成長への取り組み		人々の生活はどのように変わり、経済成長に向けてどのような取り組みが行われているのだろうか。	◎	○	○	1		
				5 節 世界の産業と人々の生活		1 人々の生活を支える農業の発展		農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1		
					2 人々の生活を支える工業の発展		工業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1			
					3 グローバル化する現代の産業と人々の生活		産業のグローバル化は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	◎	○	○	1			
					経済成長による人々の生活の変化	1 東アジアの経済成長とその歩み		東アジアの国・地域は、どのような歩みを経て、経済成長を遂げてきたのだろうか。	◎			1		
				2 経済成長による中国の生活の変化		経済成長によって、中国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	◎			1				
				3 経済成長による韓国の生活の変化		経済成長によって、韓国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	◎	○	○	1				
	10			地域統合が人々の生活や産業に与える影響		1 EU統合と人々の生活		ヨーロッパの国々が、国境を越えた結び付きを強めているのはなぜだろうか。	◎			1		
					2 EU統合による農業への影響		EUの統合は、ヨーロッパの農業にどのような影響を与えているのだろうか。	◎			1			
					3 EU統合による工業や社会への影響		EUの統合は、ヨーロッパの工業や社会にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1			
				第2章	1 節 複雑に絡み合う地球的課題	地球的課題の背景には何があるのだろうか。どのような地球環境問題がみられ、取り組みが行われているのだろうか。	1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて		地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みが行われているのだろうか。	◎			1	
				2 節 地球環境問題	1 多様な地球環境問題		地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのだろうか。	◎			1			
					2 熱帯林の破壊への対策		熱帯林の破壊は、どこで、どのような理由で進行しているのだろうか。	◎			1			
					3 地球温暖化への対策		地球温暖化はなぜ起こり、環境にどのような影響を及ぼすのだろうか。	◎	○	○	1			
					1 世界のエネルギー・鉱産資源		エネルギー資源や鉱産資源は、どのように利用されているのだろうか。	◎			1			
				3 節 資源・エネルギー問題	2 エネルギー利用の現状と課題		エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいのだろうか。	◎			1			
					3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み		各地のエネルギー問題への取り組みには、どのような特徴があるのだろうか。	◎	○	○	1			
					4 節 人口問題		1 世界の人口		世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向がみられるのだろうか。	◎			1	
							2 発展途上国と先進国の人口問題		発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。	◎			1	
				3 地域で異なる人口問題への取り組み			人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。	◎	○	○	1			
			1 飢餓と飽食				飢餓や飽食は、どのような問題なのだろうか。また、なぜ発生するのだろうか。	◎			1			
			5 節 食料問題	2 地域で異なる食料問題への取り組み			食料問題への取り組みは、地域によってどのような違いがあるのだろうか。	◎			1			
				1 世界の都市の発展			世界の都市の発達や大都市の分布には、どのような傾向があるのだろうか。	◎			1			
				2 発展途上国と先進国の都市・居住問題			発展途上国と先進国の都市・居住問題には、どのような違いがあるのだろうか。	◎			1			
				3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み		都市・居住問題への取り組みは、メキシコシティとボートランドでどのように異なるのだろうか。	◎	○	○	1				
3 学 期	1	3	1	1 節 日本の自然環境	日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。また、そこから起こる災害にはどのような取り組みが必要なのだろうか。	1 日本の地形		日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのだろうか。	◎			1		
				2 日本の気候		日本の気候にはどのような特徴があり、地域差はどのようにして生じているのだろうか。	◎			1				
				2 節 地震・津波と防災		1 地震・津波による災害		地震・津波による被害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。	◎			1		
						2 地震・津波の被災地の取り組み		地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているのだろうか。	◎			1		
				3 節 火山災害と防災	1 火山の恵みと災害		火山は、人々の生活にどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。	◎			1			
	2			4 節 気象災害と防災	2 火山と共生する地域の取り組み		火山と共生していくためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。	◎			1			
					1 ささまざまな気象災害		気象災害は、場所によってどのような違いがあるのだろうか。	◎			1			
					2 気象災害への取り組み		気象災害に対して、どのような取り組みや課題がみられるのだろうか。	◎			1			
					5 節 自然災害への備え	1 減災の取り組み		自然災害の被害を減らすためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。		○	○	1		
				2 被災地への支援		自然災害の被災地には、どのような支援が必要なのだろうか。				1				
	3		2	1 節 生活圏の調査と地域の展望	生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。	1 地理的な課題と地域調査		生活圏の地理的な課題を探究するためには、どのように調査を始めればよいのだろうか。		○	○	6		
			2 現地調査の準備			現地調査の前には、どのように事前調査や調査計画の作成を行えばよいのだろうか。								
			3 現地調査の実施			現地調査を効率的に行うには、どのような準備や行動が必要だろうか。								
			4 調査の分析と発表			調査結果をまとめて発表する際には、どのような工夫をしたらよいのだろうか。								

令和5年度 日本史Bシラバス

1. 地理歴史科の目標

わが国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

2. 日本史Bの目標

わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

3. 日本史Bの学習目標

- ①わが国の歴史と文化を、各時代の国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点から理解させる。
- ②文化と伝統については、各時代の文化とそれを生み出した時代的背景との関連、外来の文化などとの接触や交流による文化の変容や発展の過程などに着目させ、わが国の文化と伝統の特色とそれを形成した様々な要因を総合的に考察させる。
- ③沖縄の歴史と文化について、沖縄の自然条件や政治的・経済的な諸条件と関連付けて考察させる。

4. 教科書及び補助教材

教科書：「高校日本史B 新訂版」（実教出版）
副教材：「日本史B 演習ノート」（実教出版）

5. 授業方法・形態

- ①教科書・副教材を活用し、プリントやノートにまとめていくことで内容の理解を図る。
- ②教科書に沿ったプリントを作製し、生徒に積極的に授業に参加するよう促す。
- ③グループで話し合い、その結果を発表させる。
- ④時事問題を取り上げ、歴史的認識を深める。

6. 成績評価の方法

- ①定期考査
日頃の学習を確実に理解しているかを確かめるため、年間4回の定期考査を実施する。
- ②提出物
授業中に配布するプリントやノートを提出させる。
- ③授業
授業態度、科目に対する主体的・意欲的な姿勢を評価する。
- ④グループ・ペア活動
他者との会話などを通して、自分の考えを深める

7. 学習計画

学期	月	単元名	学習内容・学習のねらい・留意点	時数
一 学 期	4	第1章 文化と国家の形成 1. 日本列島の旧石器文化 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化 4. 小国の分立から倭国の形成へ 5. ヤマト政権の形成 6. 倭の五王とヤマト政権の勢力伸長 7. 氏姓制度と群集墳の出現	・日本列島の形成過程を通して、原始社会の文化を理解。 ・農耕の開始が社会にどのような変化をもたらしたかを理解させる。 ・ヤマト政権の成立過程に関連して古墳文化、支配制度、朝鮮半島との関わりを理解させる。	1 2
	5	第2章 古代国家の確立 1. 飛鳥時代の政治と文化 2. 古代国家の形成 3. 律令の成立と白鳳文化 4. 遣唐使と律令政治 5. 奈良時代の社会と政治 6. 国家仏教と天平文化 7. 平安初期の政治と文化 8. 摂関政治の確立 9. 国風文化の成立	・律令の制定された経過と内容を理解。 ・奈良時代の政権推移と政治内容を理解。 ・平安時代前期に律令政治がどのように再建修正されたかを理解。 ・藤原氏はいかにして政治権力を握ったか、どのような政治を実施したか。 ・国風文化の特色を理解させ、いかに時代に反映しているかを理解させる。	1 2
	6	第3章 中世社会の成立 1. 中世社会の土地制度 2. 武士団の成立 3. 院政と保元・平治の乱 4. 平氏の繁栄と治承・寿永の内乱 5. 鎌倉幕府の成立過程 6. 承久の乱と執権政治 7. 地頭の荘園支配 8. 農工業の発達と流通 9. 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退 10. 鎌倉時代の仏教と文化 11. 北条氏の専制と悪党	・武士の台頭を荘園の発達と絡ませ考えさせる。 ・院政を理解させ、平氏の政権掌握過程を考えさせる。 ・鎌倉幕府の成立過程をとおして、荘園の変質、産業、商業の発展を考えさせる。 ・鎌倉文化を新仏教諸宗を中心に理解させる。 ・元寇は日本社会にどのような影響を与えたか考えさせる。	1 3
	7	第4章 中世社会の展開 1. 建武の新政と南北朝の動乱 2. 室町幕府の確立 3. 室町時代の東アジアと日本文化 4. 南北朝時代の文化と北山文化 5. 室町時代の流通経済の発達 6. 惣村と一揆 7. 室町幕府の衰退と戦国動乱 8. 戦国時代の政治と社会 9. 東山文化と地方への普及	・守護大名の権勢をとおして、室町幕府の成立、政治・経済・外交を理解。 ・室町文化の特色を庶民の台頭をとおして理解。 ・在地の農民や都市の町衆の成長が政治的・社会的にどのようなうごきとなって現れるか考える。 ・戦国大名の領地支配をとおして戦国の動乱を理解。	1 5
二 学 期	9	第5章 統一政権の成立 1. 大航海時代と日本 2. 織田信長の天下布武 3. 豊臣秀吉の全国統一 4. 豊臣政権の対外政策 5. 桃山文化 6. 江戸幕府の成立 7. 幕府と藩の支配体制 8. 鎖国と四つの口 9. 身分制と村・町の支配	・ヨーロッパ人の来航が日本社会に与えた影響を考える。 ・信長・秀吉・家康の統一事業の内容を比較しながら、封建的秩序の確立を理解。 ・徳川氏による260年余りにわたる全国支配の確立過程を理解する。	1 4
	10	第6章 幕藩体制の成立 1. 幕府政治の転換 2. 産業の発達	・文治政治が政治を安定させたことを理解する。 ・経済発展が社会全般に及ぼした影響を考	1 4

二 学 期	10	3. 交通と都市の発達 4. 町人文化と学問の発達 5. 享保の改革と田沼の政治 6. 商品経済の発達と社会の変化 7. 蘭学と国学の普及 8. 寛政の改革と異国船の接近 9. 大塩の乱と天保の改革 10. 民衆文化の発展	え、享保の改革の必然性を理解させる。 ・経済の中心が上方で、それゆえ文化も上方中心であることを理解。	
	11	第7章 大日本帝国の形成 1. 開国と社会の変動 2. 尊王攘夷から討幕へ 3. 明治維新と新政府の成立 4. 文明開化と復古 5. 地租改正と富国強兵 6. アジア外交と国境問題 7. 民権思想と国会開設運動 8. 私擬憲法と政党の結成 9. 松方財政と民権運動の激化 10. 大日本帝国憲法の制定	・開国後、貿易が本格化したことによる政治や社会、経済の動揺を理解する。 ・討幕派の形成から幕府の滅亡にいたる政治過程を理解する。 ・明治政府による中央集権体制の確立過程について理解する。 ・藩閥政治のもとで実行された一連の近代化政策の意義とその問題点を考察する。 ・大日本帝国憲法の特質を日本国憲法と比較しながら考察する。	1 4
	12	第8章 大日本帝国の展開 1. 条約改正と立憲政友会の結成 2. 朝鮮政策と日清戦争 3. 日清戦争後の東アジア 4. 日露戦争と朝鮮 5. 朝鮮の植民地化 6. 産業革命と社会問題 7. 欧米文化と伝統文化の交錯 8. 大正デモクラシーの幕開け 9. 第一次世界大戦 10. 第一次世界大戦後の世界 11. 日本資本主義の成長 12. 米騒動と社会運動 13. 普通選挙法と治安維持法 14. 大正デモクラシーと文化	・条約改正交渉が、国際情勢の変化に対応して進展したことを理解する。 ・日清日露戦争と近代産業の発展の関わりを考えると同時に、日本が資本主義経済を形成し、発展していく過程を理解する。 ・移入された欧米思想、文化を理解する。 ・欧米思想の影響を受けて、自由民権運動が起こったことを理解する。	1 2
三 学 期	1	第9章 15年戦争と日本・アジア 1. 侵略戦争への序章 2. 満州事変と「満州国」 3. 日中戦争 4. 第二次世界大戦と日本 5. アジア太平洋戦争 6. 戦時下の文化と国民生活 7. 日本の敗戦 第10章 戦後改革と高度経済成長 1. 戦後世界と日本 2. 日本国憲法と民主主義体制 3. 戦後改革の転換 4. 経済復興と再軍備 5. サンフランシスコ平和条約 6. 日米新安保条約 7. 高度経済成長と公害 8. ベトナム戦争と沖縄 9. 戦後の文化	・第一次世界大戦とその後民主主義の発展が国際連盟等の国際的つながりの中から日本へも導入され、人権や市民的社会の実現を目指す労働運動や政党政治などが起こったことを理解する。 ・世界の不況が日本へおよぼしたことを理解する。 ・経済的不況から国家主義の高揚、軍部の台頭を理解させる。 ・日中・太平洋戦争へと突入した過程と国民意識を考える。 ・連合国総司令部による民主化を目的とした諸改革について理解する。 ・日本国憲法の内容を理解する。 ・高度経済成長によって、国民の生活がどのように変化したのかを理解する。 ・国際関係が国内の状況にも大きくかわることを理解する。	1 4
	2	第11章 現代の世界と日本 1. 低成長への転換から経済大国へ 2. 経済大国日本と国際経済 3. 湾岸戦争後の世界と日本 4. バブル崩壊と政界再編 5. 21世紀の日本社会 6. 21世紀の世界と日本	・高度経済成長が終わった理由を考える。 ・新自由主義経済体制の進展と、それに対抗する住民運動が展開されたことを理解する。 ・平和と人権の確立を求める運動が世界的に広まっていることを理解する。	

令和 5 年度 地理 B シラバス

教 科	科 目	対 象 学 年 ・ 学 科 ・ 単 位 数
地 歴	地 理 B	3 学 年 普 通 科 4 単 位

1 ・ 地理の学習目標

(学習指導要領)

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるに日本人としての自覚と資質を養う。

(個別目標)

- (1) 世界地図の基本的な事柄(緯度・経度、時差、国名、都市名、地名)を理解する
- (2) 世界の自然環境(地形・気候)や産業(農業、資源、工業)についての基礎的な事柄を理解する
- (3) 世界の諸問題(宗教・民族問題、領土問題、環境問題、人口・食糧問題、経済力・生活レベルの格差の問題)についての基礎的な事柄を理解する
- (4) 世界各地の地誌的事象(地形、気候、産業、文化)についての基礎的な事柄を理解する。
- (5) 写真・映像を通して、その地域や国・都市の生活・文化・観光資源・世界遺産などを具体的にイメージ出来るようにする
- (6) 世界各地の諸問題について、自分で考えをまとめ表現できるように取り組む

2 ・ 地理の学習指導にあたっての留意点

- (1) 世界の各地域の地誌を学習する際は、白地図への国名や地名の記入作業を取り入れる。
- (2) 地理は、教科書の内容をそのまま伝えるだけでは、難解であると感じる生徒が多い。適宜、映像教材や実物教材を用いて内容理解の手助けとする。
- (3) 教科書の内容の理解だけでなく、新聞やニュースで取り上げられる世界の出来事を理解するための教材も用いる。
- (4) 自分で調べて答えをさがす、積極的に発言したり前に出て解答する、グループで考えたりに教え合うなど、主体的に学習に取り組む姿勢をもたせる。

3 ・ 使用教材

教科書：二宮書店『新編 詳解地理 B』

地図帳：二宮書店『詳解現代地図』

世界各地の映像教材、実物教材

4 ・ 授業の進め方

ワークシートを配布し、教科書や地図帳、映像教材・実物教材を用いて授業を行う

5・考査

- 1 学 前 期末考査
2 学 期 中間考査 期末考査
3 学 期 学年末考査

(単元ごとの単元テストも必要に応じて適宜行う。)

6・評価

観 点 材 料	定期考査 単元テスト	発表 (個人・グループ)	授業提出物	授業態度	課 題 (R80)	比率(%)
関・意・態		5		5	5	15
思・判・表	5		5		5	15
技 能	10		5			15
知識・理解	45	5	5			55
合 計	60	10	15	5	10	100

7 科目全体の評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用 of 技能・表現	知識・技能
○現代世界の地理的事象を系統地理的に、又現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識や地理的見方・考え方に関する関心と課題意識を高めたか。	○現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に、又歴史的背景を踏まえて地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断しようとしたか。	○地図や統計・画像等の地域に関する諸資料を活用し、地理情報や地図の活用に関する技能を身につけたか。	○地図の有用性を理解し、地図の活用に関する地理的スキルを理解し、身につけたか ○現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し、身につけたか ○現代世界の関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解し、身につけたか。

8、1年間の学習内容

- (1) 地理情報と地図世界の地形環境
(2) 自然環境(地形。気候、環境問題)
(3) 資源と産業(農林水産業、資源・エネルギー、工業、流通と消費)
(4) 生活文化と民族・宗教(衣食住、言語と宗教、民族と国家)
(5) 現代世界の諸地域

- ①中国 ⑤中央アジア・西アジア ⑨アメリカ合衆国とカナダ
②韓国・北朝鮮 ⑥アフリカ ⑩ラテンアメリカ
③東南アジア ⑦ヨーロッパ ⑪オーストラリアとニュージーランド
④南アジア ⑧ロシア